

【中学校数学 活用問題 中1 - 6】

「宮崎県の気温」

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点			
			関意	思判表	技	知理
(1)	ヒストグラムから最頻値を求められるかどうかをみる問題である。度数分布表では、度数のもっとも多い階級の階級値を最頻値とすることを理解しているかどうかをみる。	1年 - D - (1) - ア 目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができるようにする。 ア ヒストグラムや代表値の必要性と意味を理解すること。				
(2)	目的に応じて資料の傾向を読み取るために、度数分布表を作成し、平均を求める問題である。	1年 - D - (1) - ア 目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができるようにする。 ア ヒストグラムや代表値の必要性と意味を理解すること。				
(3)	前までの問題を解き、平成25年と平成26年8月各日の平均気温のヒストグラムを比較し、資料をもとに問題に合うように判断し、その判断した理由を説明できるかどうかをみるもの。	1年 - D - (1) - イ 目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができるようにする。 イ ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明すること。				